

多様な教育のための専門スタッフの配置拡充に関する請願

1 要 旨

発達障害などへの支援を必要としている子供たちに対する授業や、小学校での英語の授業、遠隔授業などにおけるICT活用に向け、多様な教育をきめ細やかに展開できるように、専門スタッフの増配置の実現を求める。

2 理 由

子供の数は減少しているにもかかわらず、特別な支援が必要な子供の数は増加傾向にあり、発達障害の可能性のある小中学生は6.5%と推計されている。しかし、全員が特別支援学級や特別支援学校に通うわけではなく、通常学級に在籍する場合も多くなっている。

福井県では、2015年度に普通学級に在籍し通級による指導を受けている子供たちは597人であったが、通級担当の指導教員は29人であった。指導教員が1人で幾つかの学校を兼務することもあり、きめ細かい指導が困難な状況にある。

また、近年、教育改革が急速に進み、ICTを活用した遠隔授業やサイエンス教育、福井県が国に先駆けて実施を計画している小学校での英語の授業等、専門的な知識、技量を求められる場面が多くなってきた。そのため、機器の調整を行い、ICT教育や遠隔授業をサポートするための専門職員や、実験器具の準備や補助を行う支援員、英語の知識を有する専門スタッフの配置拡充が望まれる。

3 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合

連合福井 会長 山岸克司

福井県PTA連合会 会長 橘英亜機

公益財団法人青少年育成福井県民会議 会長 山崎幸雄

一般社団法人福井県子ども会育成連合会 会長 山崎暢子

福井県退職教職員会 会長 奥本明義

福井県教職員組合 執行委員長 竹野亨

4 紹 介 議 員

山本正雄、糀谷好晃、井ノ部航太

5 受 理 年 月 日

平成28年11月22日